

( ○○ ○○ 様) 脳ドックレポート

撮影日 ○年○月○日

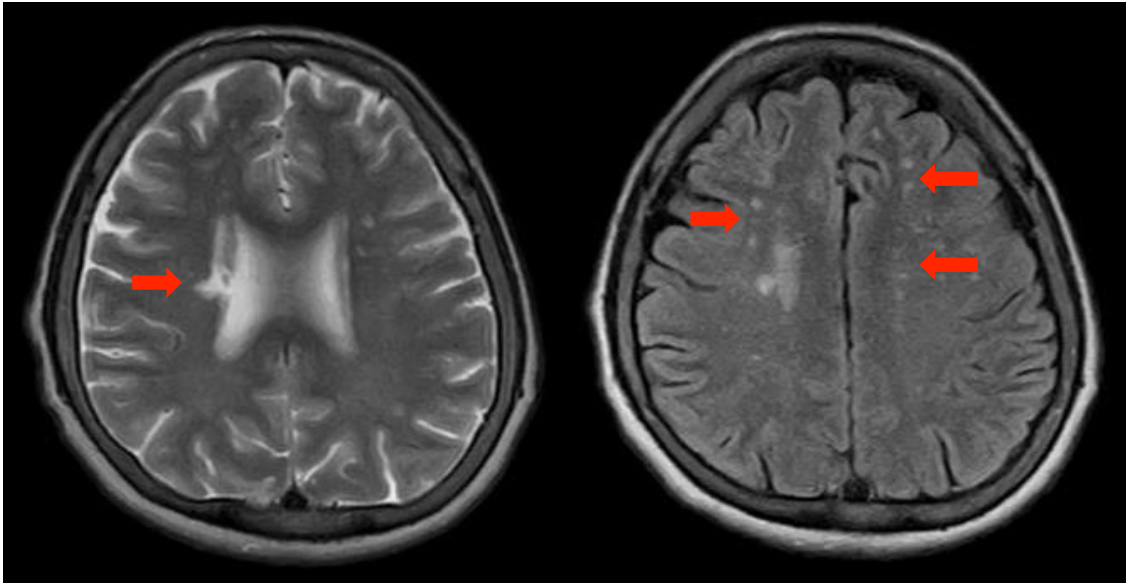
- 脳の中には脳腫瘍はありませんでした。
- 右放線冠に古いラクナ梗塞（脳血管の先端の細い血管がつまる脳梗塞）を認めます。（図 1）また慢性虚血性変化（白い部分）を認めます。（図 2）これは動脈硬化によって血管が細くなり、脳に流れる血液が減少した結果起こるものです。
- ラクナ梗塞の既往もありますので、動脈硬化のリスクファクターである高血圧、高脂血症（LDL）、糖尿病がある場合は、治療が必要です。また脳血管に限らず、全身の血管に動脈硬化は及びます。頸動脈や心臓の血管評価も必要かと思われまます。
- 脳の萎縮はなく、アルツハイマー型認知症の心配も現在はありません。
- 脳血管撮影（MRA）では、脳動脈の狭窄（細くなること）や、動脈瘤（こぶのこと）もなく、直近の脳出血・脳梗塞のリスクは低いです。
- 右内頸動脈床上部に小さな突出を認めます。（図 3）後交通動脈の起始部の漏斗状拡張と思われまますが、1年後を目安に再検査を行った方がよいと思います。漏斗状拡張は生理的な変化で病気ではありません。しかしこれが動脈瘤であった場合は、脳出血を起こすリスクにもなりますので注意が必要です。
- 脳の動脈の血管年齢は年齢相応です。
- その他、右上顎洞（鼻の奥）に液体貯留があり、上顎洞炎のようです。（図 4）右の頬の奥に重い感じや痛みがあるかもしれません。頭痛の原因の場合もあります。

診断名：陳旧性ラクナ梗塞、慢性虚血性変化、右上顎洞炎

この度は当院の脳ドックを受診していただきましてありがとうございました。

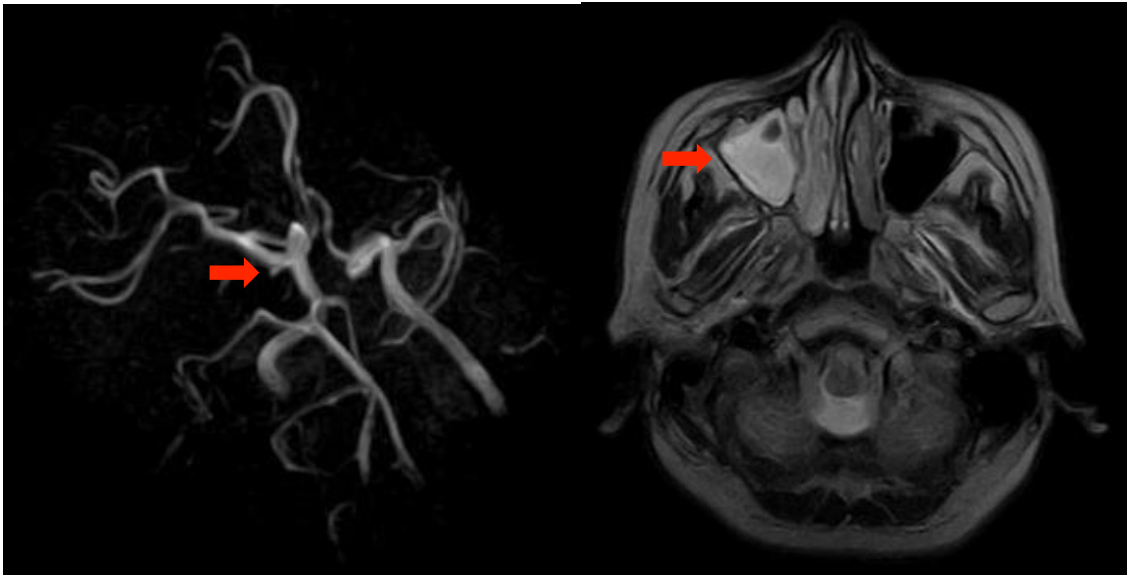
松岡救急クリニック 院長 松岡良典 日本脳卒中学会専門医





(图 1)

(图 2)



(图 3)

(图 4)